



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 フィリピン共和国・カオハガン島

期間 2010年2月11日～2月15日

参加メンバー

(上段左から) 上崎 秀美(D) 中辻 孝一(T) 橋口 敦(T) 河内 光明(T) 金田 直人(D)

栗生 茉莉恵(D) 中根 綾子(D) 木下 ゆかり(H)

(下段左から) 森 千代美(H) 垣内 万智子(H) 川畑 小夜(H) 矢田 沙希子(H)

崎山 克彦(島主) 倉橋 寿会(H) 田岡 杏子(D) 倉橋 朋子(H)

* 歯科医師(D) 歯科技工士(D) 歯科衛生士(H)



活動内容

2月11日(木) 晴れ

Dr沢田送られて9時55分関空を出発し、マニラ経由でセブに16時30分頃に到着。ゲートで崎山さん、青木さん、エマさん、トッペルさん達に出迎えられる。成田組と合流するため、DT河内をセブに残し、他の関空組はタクシーと船を乗り継いでカオハガンへ。船からみる夕日の美しさに感激。関空組は18時頃にカオハガンに到着。到着後すぐに教会にむかい、機械の動作のチェックや診療準備を行ってその後夕食。20時ごろに成田組がカオハガンに到着し、成田組の夕食後にミーティング。カルテの書き方や役割分担をする。今回は日数が少ないことに加え、小学校の休みも考慮して12日(金)に小学校全員の歯科検診をして、その翌日から治療することに。部屋割りをしてバンガローやキルト小屋で眠りにつく。

2月12日(金) 晴れ タ方スコール

午前8時朝食。カオハガン独特のゆっくりとした食事、診療開始時間を少し過ぎてしまったが、前日に準備が出来ていた、すぐに診療することができた。教会には治療を待つ島民がすでに数人待っていた。

教会では診察し、デンチャーの印象やセット・抜歯・充填などを手分けして行う。教会の片隅でDH倉橋(朋)とDH木下が追跡調査。元ホテルスタッフの青木さんの大きな協力のおかげで、1 日目に9人／15人もの追跡をすることができた。9 時 30 分からDH垣内とDH川畑が小学校へ行き、紙芝居を使っての保健指導、海で赤染め・歯磨きをする。低学年から順次行っていき、歯磨きが終わったクラスから、Dr栗生とDH倉橋(寿)が歯科検診をしていく。



午後の診療は、Dr栗生とDH倉橋(寿)が残りのクラスの歯科検診を行い、教会では保健指導に行っていた2人のDHも加わり、診療チェアへの他にベンチに寝転がって治療を行うなど、Dr、DT、DHそれぞれが自分のできることを精一杯にやっていた。夕食後、簡単なミーティングをして、母屋の横の広場で上映会を行う。『ドクタードリトル』 音声小さく、聞き取りづらかったようだが、口をあけて見入っている子供達を微笑ましく思った。



2月13日(土) 晴れ 夕方スクール

小学生の治療をメインに診療を行う。今回小学校の歯科検診でチェックされた子供達のカルテを先生に渡して教会に連れてきてもらい、その場で先生が子供それぞれにカルテを渡してもらうようにした。3年生のみ午前中は島外アクティビティに出かけていたため、午後の治療となる。学校が休みなのに、この為に残ってくれた学校の先生に感謝です。小学生の治療以外では、デンチャーの印象や追跡調査4人を行う。

昼食後、午後の診療に教会に行くと、パンダノン島などの治療希望の 30 人近いリストメモを渡されたのには驚かされた！カオハガン島民を優先に治療で(を進め)、全員を治療するには時間的に難しいことを説明した。午後の治療も抜歯や充填などを分担して行う。夕食時には恒例のたこ焼きパーティー。崎山さんやホテルスタッフも喜んで食べてくれました。上映会は昨日の音響の関係で、教会横のステージで『白雪姫』を上映した。



2月14日(日) 晴れ

午前中は、診療をしながら在庫整理やパッキングを行う。小学校の歯科検診でチェックされて逃げていたアンジェロを崎山さんが見つけて連れてきてくれて、今回も多くのの人々の協力で活動することができました。昼食後フリータイムがあり、シュノーケルや釣りをして各々の時間を過ごす。運動会はポントグの観光客が多く、開始(時間)が大幅に遅れたが、そのおかげでいつもより潮がひいて、広い運動場を確保することが出来た。プログラムはボール運び・音感ゲーム・パン喰い競争・玉入れ・リレー・綱引き。カオハガンのママ達の綱引きは最強です。運動会の最後には参加賞として歯ブラシを配る



2月15日(月) 晴れ 船の上でスクール

早朝 5 時、暗い中を出発。潮が引いていたので、船までしばらく歩く。歩くたびに夜光虫が光り、幻想的な景色に感動の声があがる。船で移動中、雨が降り出したが対岸に着くころには雨もあがる。マクタンの朝市でおかゆなどの朝食をとる。その後タクシーで空港に移動。マニラの空港で軽食をとり、成田・関西とそれぞれの飛行機で無事帰国しました。



総括

リーダー報告(上崎)

2010年2月11日～15日

上記5日間 歯科医師5名、歯科技工士3名、歯科衛生士7名の 総勢15名で活動してきました。

いつもと違ったのは、実質2日半の中で2時間早かった大阪組到着と同時に設営状態、機器作動をチェックし翌日からの準備を済ませました。1時間かからず用意ができ、12日の朝からフル回転できたことと、11月の活動時印象をとってきた分も含めて咬合採得、作成・装着・新規印象など、技工部分の分割実施を進められできたこと。さらに、予約患者の完全実施は、連絡調整の理事と現地との打ち合わせ、事前調整のたまものだと思います。

その他、11月から継続している現地スタッフの活用(カルテの抽出、検索など)、診療順番の周知方法(ガムテープに番号記載)などなど新たなアイデアも効果的でした。

小学校での媒体啓発活動、歯磨き指導、検診、教会での診療、技工すべて 15名とスタッフは多く順調に経過しました。ただ、教会での診療は やはり人数、密度とも要求されるものも多かったようでどこかで線引きし、次回にということがあり心残りでした。

最終日、島民楽しみの 運動会ですが 今回は干潮で 広大な砂洲が広がり いつもとは違った規模の開催となり 子供たちもエキサイトしたようです。

最後に全行程終了し全員無事帰国お疲れ様でした。そして、いつものことながら 不慣れなリーダーを支えてくれるメンバーの連携と頑張りの結果だと感謝して報告の言葉とさせていただきます。



技工部門からの報告(河内)

今回は技工士 3 名の参加でスムーズに仕事をこなすことができました。

ベテランの中辻さん、そして静岡から参加のデンチャーのスペシャリストの橋口さん。

今迄の中で余裕のある仕事内容で丁寧に仕上げることができました。また、ハイジニストの森さんがてきぱきと印象、石こう流しをやって下さり時間の短縮につながりました。

他のメンバーの方々も各自持前の技量を発揮して頑張っておられました。

参加するごとに思うのですが、デンチャーセット後の調整ができれば良いのですが……。

治療後のフォローやデンチャーセット後のメンテナンスのことも、今後何か得策がないか考えていかなければならないと思います。

今回は天候にも恵まれ何のトラブルもなく楽しく活動することができました。参加された方々と又、活動を共にすることができますように。逢える日を楽しみにしております。



データ

治療結果

	12 日	13 日	14 日	合計
抜歯	51 本	118 本	21 本	190 本
CR	25 本	46 本	8 本	79 本
セメント	13 本	149 本	26 本	188 本
サホライド	2 本			2 本
SC	1 人	6 人	5 人	12 人
TBI		1 人		1 人
その他	3 本			3 本
義歯修理	3 床	4 床	1 床	8 床
義歯印象	19 床	7 床		26 床
義歯バイト	8 床	1 床	2 床	11 床
義歯セット	3 床	1 床		4 床
合計	56 人	93 人	23 人	172 人

島別受診者	
カオハガン	48 人
カオハガンスクール	68 人
パガンアン	9 人
パンダノン	38 人
カブルアン	1 人
サンタロッサ	4 人
ラブラブ	1 人
セブ	2 人
パングラオ	1 人
合計	172 人